

2022年7月29日

News Release

日本国内初 Hyundai 直営拠点

「Hyundai Customer Experience Center 横浜」

2022年7月30日（土）オープン

- 購入相談から納車、整備まで、すべての顧客体験をワンストップで提供
- Hyundai のブランドアイデンティティを表現する約 2,431 m²規模の施設
- ユニークな ZEV 納車体験の提供
- ZEV メンテナンスを提供する先進的でクリーンなアフターセールスワークショップ空間
- 全国主要都市を中心に展開予定

Hyundai Mobility Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役社長：李正旭、以下 Hyundai）は日本国内初の直営拠点となる「Hyundai Customer Experience Center 横浜（ヒョンデカスタマーエクスペリエンスセンター横浜）」を 2022 年 7 月 30 日（土）より神奈川県横浜市港北区にオープンいたします。

「Hyundai Customer Experience Center 横浜」（以下、CXC 横浜）は、オンライン販売のサポート、およびお客様視点で様々なニーズへ柔軟に対応するための新しいコンセプトの施設です。

CXC 横浜は 5 月より販売開始した EV「IONIQ 5」、FCEV「NEXO」の購入相談に加えて、車両展示、試乗体験、納車、整備を実施いたします。

敷地面積 2,431.66 m²規模（施設面積：1,871.08 m²）の本施設は、1 階には展示、納車、試乗、ZEV^{※1}専用整備工場、2 階にはブランド展示スペース、顧客ラウンジを設置しています。9 月から稼働予定の ZEV 専用整備工場は最新の設備を備えており、専門のテクニシャンが車両購入後もお客様に安心・信頼いただけるアフターサービスを提供してまいります。

CXC 横浜は Hyundai ブランドが目指す顧客体験を体験できる空間となります。お客様と持続的に接点を持つことで、単なる ZEV を経験するだけの空間としてではなく、クリーンモビリティに関するアイデアや様々な出会いが拡大していく空間となるような運営を目指しています。

また、この度オープンする CXC 横浜を皮切りに、顧客体験をワンストップで提供する施設を今後全国主要都市に展開していく予定です。

※1:ZEV（Zero Emission Vehicle）走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCEV）の総称

■Hyundai Customer Experience Center 横浜 施設紹介

コンセプトについて

CXC 横浜は車にまつわる全ての体験がシンプルかつ機能的にできる空間として設計されており、ZEV が持つクリーンかつサステナブルなイメージを表現したデザインとなっています。さらに、Hyundai ならではの感性を加えることで差別化を図りました。

内外装には木毛セメント板等、再生可能素材を採用し、各エリアを有機的にリンクさせることで快適な導線づくりをするなど、至るところに細かい工夫を入れた空間となります。

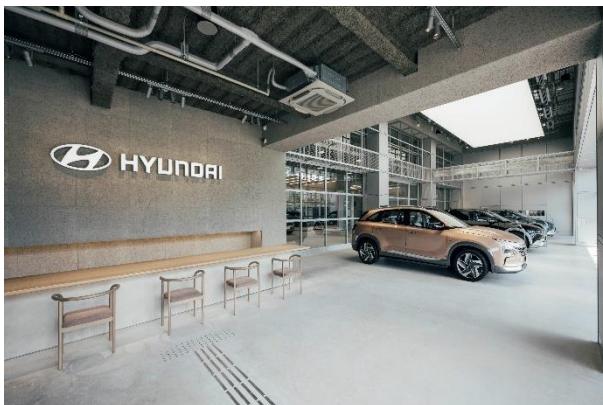
何よりも顧客体験を最優先にし、Hyundai が提供するサービスだけではなく、Hyundai ブランドが目指すクリーンモビリティやサステナブルな体験もお楽しみいただけます。

<ZEV のライフスタイルの体験が可能なショールーム>

広々と開放的な一階エントランスにて、CXC 横浜専任スタッフがお客様をお迎えいたします。CXC 横浜の各エリアについてご紹介するユニークなインフォグラフィックス、サステナブルな製法で抽出されたアロマオイルをブレンドしたオリジナルな香りとともに、エントランスから Hyundai のブランド体験は始まります。

ショールームでは「IONIQ 5」、「NEXO」に加えて、V2L が体験できる V2L Tool kit、アクセサリも展示しています。また、インテリア・エクステリアに使用されているサステナブルなバイオペイントやエコ素材をマテリアルボードにて展示することで、より車両に関する理解を深めていただくことができます。

さらにタッチ式 3D コンフィギュレーターでは全色の内外装をリアルな映像でご覧いただけます。



<特別な納車セレモニーおよび急速充電の提供>

納車エリア (1F)

CXC 横浜の納車エリアでは Hyundai の車両をご購入いただいたお客様に「初めて愛車と出会う大切な瞬間」を特別な思い出にさせていただくために、各車種の世界観を表現したショートムービーの放映やターンテーブルを活用した車両の登場など、感動的な納車セレモニーをお楽しみいただけます。



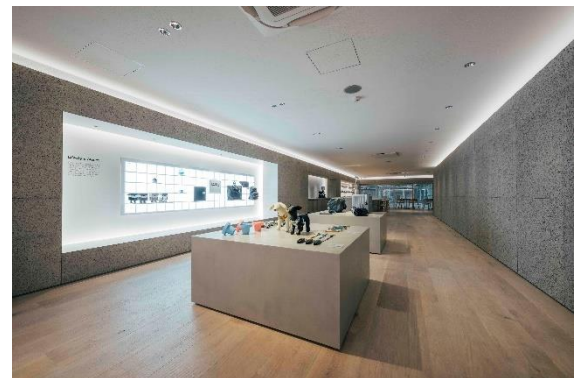
また、CXC 横浜には Hyundai Fast Charger (急速充電器) を 2 器設置し、9 月からお客様向けの充電サービスを提供する予定です。Hyundai Fast Charger は Hyundai 固有のデザインが適応された CHAdeMO 対応の急速充電器となり、50kW 級が一般的な既存の急速充電器とは差別化された充電サービスを提供します。他にも 6kW 級の Hyundai Home Charger も設置し、自宅へ充電器を設置した場合の充電体験をしていただくことが可能です。

さらに、CXC では試乗も受け付けています。直線とコーナリングを組み合わせた走行コースにより、車両の性能を最大限お試しいただけます。こちらの試乗は事前予約をお勧めしておりますが、CXC にお越しいただいた当日の試乗希望にも今後対応する予定です。

<持続可能なブランド体験空間>

Hyundai Lounge (2F)

Hyundai ブランドの世界観を伝える展示スペースではブランドメッセージや「サステナブル」「インテリジェント」を体現したコンテンツを放映するブランドメッセージウォールを設置。また、Lifestyle Closet では、「IONIQ 5」のコアなデザイン要素である「パラメトリックピクセル (Parametric Pixel)」を中心に、Hyundai がもたらす様々なライフスタイルを感覚的に伝えるグッズをご覧いただけます。



さらに、モビリティライフの幅を広げてくれる H Genuine Accessories (ペット・アウトドア向けの純正アクセサリ) は、製品紹介文に記載された QR コードからその場ですぐにご購入いただくことも可能です。

顧客ラウンジ

専用のバリスタを配置した本格カフェ空間では Hyundai が独自に開発したオリジナルドリンクや茶菓を提供し、アフターサービスでお待ちいただく間もご自由にゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

お客様に提供するオリジナルコーヒーは人気カフェ「Little Darling Coffee Roasters」バリスタの赤川直也氏、オリジナルティーは日本茶ブランド「Anytime Teatime」をプロデュースする小川孝行氏とのコラボレーションから生まれたもので、CXC 横浜でのみお楽しみいただけます。

またこの顧客ラウンジに設置された「Work shop View」ではリアルタイムで車両メンテナンスの様子をご覧いただけます。この「Work shop View」の設置はメンテナンスの透明性の確保およびお客様との信頼関係の構築を目的としています。

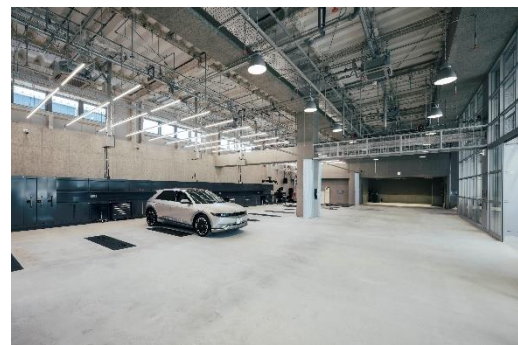
他にも「IONIQ 5」前席シートに装着されている「Zero Gravity Sofa」体験ゾーンなど、Hyundai ブランドを体現した空間となっています。



<ZEV の専門メンテナンスが可能なクリーンなアフターサービス空間>

9月稼働開始予定の ZEV 専用整備工場にも、排気ガスの排出のないクリーンな ZEV のイメージを反映。お客様に安心してご利用いただくため、ショールームおよびラウンジからも整備工場での車両整備状況をご覧いただくことができます。この整備工場には整備用リフト 4 基、ホイールアライメント、タイヤチェンジャーおよび ZEV 整備のための専用安全装備も保有しています。また、Hyundai 用スペシャルツールや駆動用バッテリー脱着可能な設備機器も備えています。

さらに CXC 横浜は全国の協力整備工場とのハブ機能としての役割も備えており、サービスフロントアドバイザーやスタッフの研修施設としてのトレーニングルームも設置されています。ここで ZEV 専門の整備リソースを養成し、どの場所でもお客様が安心してご利用いただけるよう均一な整備サービスを提供します。



■Hyundai Customer Experience Center 横浜 概要

名称 : Hyundai Customer Experience Center 横浜

所在地 : 神奈川県横浜市港北区北新横浜2丁目2-1

※横浜市営地下鉄ブルーライン「北新横浜駅」より徒歩5分

※駐車場あり

営業時間 : 10:00~18:00

定休日 : 毎週月曜日 ※それ以外にも定休日となる場合がございます

※ Hyundai のブランドアイデンティティがこもった本施設のデザインは TONERICO : INC. が担当し、アーバンスクエア株式会社により施工されました。

EV 「IONIQ 5 (アイオニック ファイブ)」

「IONIQ 5」は、ジョルジェット・ジウジアーロ (Giorgetto Giugiaro) による1974年型ポニーコンセプトをオマージュしたモデルです。Hyundai の過去と現在、そして未来を繋ぐ「Timeless value、時間を越えた価値」というコンセプトから生まれました。さらに、サステナブルかつ革新的な機能の搭載や広い空間性を実現したことで、新しいEVエクスペリエンスを提供します。また、既に販売されている海外では高く評価されており、様々な賞※を受賞しております。

※2022 German Car of the Year、UK Car of the Year 2022、2022 World Car of the Year、2022 World Electric Vehicle of the Year、2022 World Car Design of the Year

<https://www.hyundai.com/jp/ioniq5>

FCEV 「NEXO (ネッソ)」

独自の技術で開発した「FCEV専用システム」を使用した水素電気自動車のNEXOは、2018年発売以来FCEVのトップセラーとなっております。2019年のアメリカの「WardsAuto 10ベストエンジン」に選定され、またFCEVとしては唯一4年連続で米国IIHS最高ランクを獲得しており、クリーンであるのみならず、その安全性と耐久性も評価されました。

<https://www.hyundai.com/jp/nexo>

Hyundai (ヒョンデ) について

1967年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上でトップクラスの自動車とモビリティサービスを提供し全世界で 12 万人以上の従業員を雇用しています。また、より持続可能な未来の到来を見据えた製品ラインアップを強化するとともに、現実のモビリティ課題に対する革新的なソリューションを展開しています。Hyundai は、このプロセスを通じて人と人とのつながりを活性化し「Progress for Humanity (プログレスフォーヒューマニティ)」を掲げ、人類のための進歩に貢献することにより、お客様に質の高い時間を提供するスマートモビリティソリューションプロバイダーを目指しています。

日本法人名	: Hyundai Mobility Japan 株式会社
設立	: 2000 年 1 月 7 日
本社	: 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-6-1 みなとみらいセンタービル 16 階
代表者名	: 代表取締役社長 李 正旭